



車いすバスケットボールを体験する生徒ら

車いすバスケットボールを体験

総社中学校

総社中学校の1年生約100人が6月25日、車いすバスケットボールを通じ、福祉やバリアフリーの社会について考えました。

講師を務めた吉備国際大学の車いすバスケットボール部の学生2人は、「道路や施設の段差を意識するように、気付いたり考えたりすることがバリアフリーにつながる」と、生徒に話しました。その後、生徒の代表15人が競技用の車いすに乗り、シュートや試合を体験。「障がいがある人もない人も、いっしょに楽しめることが素晴らしい」と、生徒たちは話していました。

七夕様に願いをこめて

商工会議所・市役所

7月7日の七夕を前に6月22日には総社商工会議所で、同24日には市役所で、七夕の飾り付けが行われました。

商工会議所では総社南幼稚園の園児33人が、市役所では総社保育所の園児約30人が飾り付けに参加。「一輪車に乗れるようになりますように」「ケーキ屋さんになりたい」など、自分の願いを書いた短冊や折り紙で作った飾りを、楽しそうに笹に結びました。



短冊を結ぶ総社南幼稚園児



七夕飾りを見る総社保育所の園児

●ミニフォト

赤米の田植え



ていねいに苗を植える児童ら

新本本庄国司神社の神田で6月17日、赤米の田植えが行われました。新本小学校の5年生15人が参加。新本赤米保存会の指導を受けながら、田植え綱に沿って苗を植えていました。秋には、稲刈りやもみすりなども体験します。

吉備路への思いをしたためた



展示初日に讃辞額を除幕

故平山郁夫さんのご遺族から5月末、備中国分寺五重塔の印象と吉備路への思いをしたためた「五重塔讃辞額」の寄贈が市にありました。平山さんの思いを感じてもらおうと、6月10日から同25日まで市役所で一般公開しました。

ウイングバレイで高校教員が研修



旋盤加工を体験する教員(中央)

県内の工業系高校の教員が企業の現場を体験する研修が7月6日から、協同組合ウイングバレイの8社で行われています。この日は、自動車のシャーシーやミッションなどの部品を造る会社で、旋盤加工を学んでいました。

防災機能をもつ常盤公園オープン

開園式と防災体験

常盤公園の開園式と防災体験の催しが7月13日、同公園で開かれ、地域住民や関係者、常盤小学校・常盤幼稚園・中央保育所・あのね保育園の子どもら約1000人が開園を祝いました。

防災体験に参加した児童らは、地震や煙のなかを歩く体験をしたほか、自衛隊の防災器具や炊き出し用の車両に興味深く見ていました。

防災機能をもつ常盤公園は、地域住民や常盤小学校の児童らがワークショップを通じて、デザイン段階から整備にかかわった公園です。



煙体験ハウスで煙のなかを歩く体験をする児童(写真上)。モザイクアートを見て歩く児童(写真下右)。開園式でのテープカットと除幕(写真下左)



ろうそくとLEDによる夏の星座と天の川を楽しむ学生ら

学生手作りの七夕まつり

岡山県立大学七夕フェスティバル

岡山県立大学で7月7日、七夕フェスティバルが開かれ、浴衣を着た学生や市民でにぎわいました。

フェスティバルは学生の手作りで、ライブやうちわ抽選会、花火などを行いました。午後8時からは、エコナイトと題してライトダウンを実施。自転車発電で点灯させたLEDやエコキャンドルなどで作った夏の星座と天の川が会場に浮かび上がると、学生や訪れた人から大きな歓声が上がりました。